

2023年1月4日

2023年 年頭所感

株式会社JTB 代表取締役 社長執行役員 山北 栄二郎

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

2022年は夏季に新型コロナウイルス第7波の感染拡大が見られたものの、10月には大幅な水際対策の緩和が実施され、待ち望んでいた国際的な往来が再開となりました。同時期に全国旅行支援も開始し、他国に後れを取っていた日本も、本格的な交流の回復に向け一歩を踏み出しました。JTBグループは、この3年間厳しい環境にありながらも交流の復活を信じ、交流を待ち望んでいたお客様が、また国内外の訪問先で心豊かな体験をしていただけますよう、準備を整えてまいりました。

私たちは今年4月より、JTBグループ全体のリブランディングに着手します。中期経営計画に則り事業ポートフォリオの変革を進める中、お客様に認知していただきたいJTBブランドの姿を示していくことが目的です。その姿とは、「期待を超える挑戦を続け、新たな交流時代を切り拓く」ことです。事業活動とブランディング活動の両輪で、多様性あふれるダイナミックなJTBグループに進化させていく所存です。お客様と共に歩むその道のりを、先行してリニューアルしたJTBコーポレートサイトのオウンドメディア“JTBeing”⁽¹⁾を通じてお伝えしていきたいと思っております。

さて今年は、3月に「2023 WORLD BASEBALL CLASSIC™」、9月には北海道で「アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット(ATWS)2023」、「ラグビーワールドカップフランス 2023」が開催されます。来年は、「第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)・パリ 2024 パラリンピック競技大会」、2025年には「日本国際博覧会(大阪・関西万博)」や「2025年世界陸上競技選手権大会」など、日本を起点に国際往来が活発になる大型イベントが続きます。

開催を見合わせていたJTBのオリジナルイベント、「第136回杜の賑い沖縄(2023年1月、沖縄)」や、協賛する「第27回ホノルルフェスティバル(2023年3月、ハワイ)」も、リアル開催に向けて着々と準備を進めております。JTBグループで働く一人ひとりが、持てるホスピタリティを発揮しながらこうした交流を支え、お客様の笑顔のそばに居られることに、あらためて喜びを感じております。

JTBグループは昨年、「JTBサステナビリティレポート 2022」⁽²⁾を公開いたしました。社として取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を「心豊かな暮らし」「取り巻く環境」「パートナーシップ」の3つに定め、環境配慮やESG観点の商品やサービスなど、サステナブルな交流を作るソリューションの提供を始めています。脱炭素化への取り組みを加速させるなど、“交流”を通じてこれらの3つ課題にチャレンジしていく所存です。

2023年は国際交流再開の年となります。感動と驚きに満ちた交流は、間違いなく人々を元気にします。交流が持つ前向きなエネルギーで世界が満たされることを願うと同時に、交流を可能にする社会・地球環境を未来に向けて持続させるための努力を、私たちはひたむきに続けてまいります。

皆様の益々のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

(1)URL:<https://www.jtbcorp.jp/jp/jtbeing/>

(2)URL:<https://www.jtbcorp.jp/jp/newsroom/2022/10/jtb-sustainability-report-2022.html>